



人と企業に選ばれるまちを目指す 市長戦略最前線

戦略から実動へ

▶市長戦略の
詳細はこちら



▶広報すその
オンラインは
こちら



子育て世帯の保護者負担の削減

市内で赤ちゃん用紙おむつの生産が開始

須山にあるアイリスオーヤマ(株)富士裾野工場で、同社の新規事業となる赤ちゃん用紙おむつ「あんしんGenki! パンツ」の生産が始まったことを記念し、おむつ約2,000セットが市へ寄贈されました。同製品は市のふるさと納税返礼品となり、寄附の拡大や地域産業の活性化に繋げるほか、県内初となる子育て世帯の外出負担を軽減するための実証実験「すそのっ子お出かけ応援プロジェクト」にも活用します。

県内初の子育て世帯負担軽減のための実証実験を開始

「すそのっ子お出かけ応援プロジェクト」は、こども家



庭センター「すこっぴ」の利用者が安心しておむつ交換できる環境づくりを目指し、紙おむつとおしり拭きを無料で提供する実証実験です。乳幼児を連れての外出時の負担を軽減し、より多くの利用者に安心して施設を利用できる環境を整備し、子育て世帯の外出支援と地域の子育て力の向上を目指します。

すこっぴを中心にした子育てしやすい環境づくり

7月30日(水)、こども家庭センター「すこっぴ」の近くにある、せせらぎ児童公園に「芝生のひろば」がオープンします。室内遊びができる「すこっぴ」と外遊びができるせせらぎ児童公園が融合することで、さらに子育てをしやすいまちを目指していきます。



すくすく
成長中!

裾野っ子

市内に住んでいる
3歳0カ月までの
子ども紹介!

▶誕生月の2カ月前までに右記の2次元
コードを読み取り、応募フォームから
申し込んでください。



みさき
青木 実咲さん
2歳11カ月
石脇



こうだい
久保 航大さん
2歳11カ月
富沢



ももか
眞田 萌々夏さん
2歳11カ月
本村下



ともや
佐藤 倫也さん
2歳11カ月
久根



ふうか
川岸 楓果さん
2歳11カ月
御宿新田



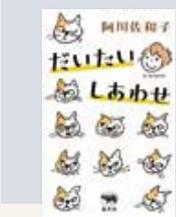
8月図書館だより

開館時間／火・水・土・日曜日 9時～17時／木・金曜日 9時～19時
休館日／4日(月)・12日(火)・18日(月)・25日(月)・28日(木)



市立鈴木図書館 992-2342 文化センター図書室 993-9305

新刊紹介



一般書

だいたいしあわせ

著者：阿川 佐和子
出版社：晶文社

人気エッセイが書籍化しました。阿川さんの日常の出来事がユーモアたっぷりにつづられています。何気ない毎日が愛おしくなるような「幸せのヒント」が詰まった一冊です。日々を楽しく過ごしたい人におすすめです。



児童書

どろぼうジャンボリ

著者：阿部 結
出版社：ほるぷ出版

一風変わったどろぼうジャンボリが盗むのは、ごみ箱に捨てられた手紙たち。盗んだ手紙を朝まで読みふけるのが楽しみなのに、ある日どこにも手紙がなくて…？優しい絵と心が温まるストーリー。夜寝る前にぴったりの絵本です。



行事予定

市立鈴木図書館

絵本とおしゃべりのへや

親子で参加できる全5回の講座です。

- 時①8月29日(金) ②9月12日(金)
 - ③10月9日(木) ④11月28日(金)
 - ⑤12月12日(金)
- 10時～11時30分

所 鈴木図書館2階展示室

期 7月26日(土)～8月15日(金)

読み聞かせ屋さんがやってくる!

時 2日(土) 10時30分～11時30分

親子おはなし広場

時 5日(火) 10時30分～11時

ベビー&キッズタイム

時 13日(水) 9時～12時

夢あふれる「冒険と魔法の世界展」

時 29日(金)～9月20日(土)

夜な夜なおはなし会

時 22日(金) 18時～ ※要申込

文化センター図書室

おはなしの会

時 9日(土) 11時～11時30分

親子おはなしの会

時 19日(火) 10時30分～10時50分

すそのびと Susonobito No.73

東京ウイスキー&スピリッツコンペティション2025で金賞

江森 慎さん
上町・42歳



裾野で生産された原料(さつまいも)を使用した本格芋焼酎「歩」が、アジア最大級の酒類品評会「東京ウイスキー&スピリッツコンペティション2025」で金賞を受賞しました。この快挙を成し遂げたのは、大正9年から続く地酒専門店「みしまや」の4代目店主、江森慎さんです。

市外からUターンして家業を継いだ江森さんは、「当時は全然やりたくなかった」と振り返ります。当初、

地域や酒造に関心がなかったそうですが、不況下でも続く家業に疑問を持ち、裾野や酒業界について調べるうちに、地域の可能性とお酒の魅力に気づいたといいます。「裾野の魅力を融合させたお酒造りをしたい」という想いから、江森さんはNPO法人みらい建設部や佐野一子ども会、福寿会など様々な団体や農家などと協力し「歩」の製造に至りました。「酒造を通して多くの人と関わり、喜びや苦勞を共有することがやりがいの一つです。『歩』は、関わる人みんなで作った一つの作品です。だからこそ、受賞は震えるほど嬉しかった」と語る江森さん。



「裾野の魅力を世界に発信していきたい。そのためにも、今できることを地道にやっっていこうと思います」と今後について力強く語りました。